

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 26日

事業所名 ほうかごきつず

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		全体活動や、利用児の状況をみながら、グループにわかれての活動も行っている。	レイアウトの工夫や、環境整備に努めています。
	2 職員の配置数は適切である		○	安全を第一に、適切な職員配置を心がけている。	利用状況にあわせ、適切な職員配置と安定した支援を目指しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		状況判断しながら、スロープや階段の誘導を行っている。	今後も必要に応じて対応していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼・夕礼で、一日の予定や日々の振り返りを必ず行っている。	今後も継続して行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		職員全体で共有し、改善方法等、検討している。	アンケートの集約結果について、職員全体で共有し改善に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人ホームページにて公表。	今後も継続して行っています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていないが、関係機関からの評価やご意見を頂き業務改善に努めている。	今後も必要に応じて、業務改善に努めています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修や法人内研修など、可能な限り参加している。	積極的に参加し支援の質の向上に繋げていきます。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に、本人・家族の面談を行い、職員で共有し分析している。	家庭とのやり取りを丁寧に支援計画書を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		各関係機関と情報共有を行い、状況把握に努めている。	今後も継続して行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動担当の案をもとに、全体で話し合い取り組んでいる。	「頭をつかう(考える)活動」「体をつかう(動かす)活動」「生活」「イベント参加」など、各担当で立案した内容を全体で話し合い取り組んでいきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節にちなんだ活動内容やイベントなど検討し話し合い決めている。	子どもたちの発想やリクエスト活動も大事ながら、取り組み内容の工夫を行っていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用曜日や利用する子どもたちに合わせグループ活動の組み立てを行っている。	平日・長期休暇や季節にちなんだ活動内容の工夫、課題について検討し支援を行っていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもたちの特性や様子を把握しながら、活動の工夫・見直しを行っている。	今後も継続して、活動内容の工夫・見直しを行い無理のない計画を作成していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に、利用児の様子確認・活動内容や支援についての確認を行っている。	今後も打ち合わせや活動内容の確認を丁寧にしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		夕礼時に、振り返り会議を行い支援の共有を行っている。	職員全員での振り返り会議が難しい場合など、振り返り会議録について周知できるよう出勤時に目を通すよう周知に努めています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々のケース記録・振り返り会議を行い支援の見直しを行っている。	記録をとる際には、わかりやすく理解できるよう丁寧な記録をとり、また支援の改善に努めています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に、本人や家族の意向を聞きながら、見直しの判断を行っている。	今後も各関係機関と情報共有しながら、必要に応じて見直しを行っていきます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ひとり1人の様子や状況に応じた、活動内容を検討し支援を行っている。	今後もそれぞれの発達・成長をみながら支援を行っていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて、子どもさんの特性や状況把握している職員が参加できるように心がけている。	今後も必要に応じて参加し、情報共有を行っていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じてケース会議を行い、情報共有を行っている。	今後も必要に応じて、年間計画・行事予定・下校時間等について、確認できるよう働きかけていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在対象児童はいませんが、必要に応じて体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて情報共有できるよう、各関係機関と連携していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		対象となる児童がいませんが、必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		圏域内の連絡会や研修に、積極的に参加している。	今後も継続して行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	イベントへ参加した時など、少しの交流はあっても交流を目的とはしていない。	活動する機会があれば、状況みて判断していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の学齢期ワーキンググループに参加している。	今後も継続して参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話連絡、送迎時など、子どもさんの様子をお伝えしている。	共通理解できるよう、丁寧なやり取りを行っていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		困りごとや悩み事など、一緒に考え解決できるよう取り組んでいます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			今後も丁寧な説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日頃の様子を伝えるとともに、家庭の様子など伺いその都度丁寧な対応を心がけている。	今後も適切な対応を心がけていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		安全な環境が整い次第、開催に向けて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や困りごとがあった場合、管理者が対応し、職員全体で話し合い適切な対応を心がけている。	今後も適切な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の利用申し込みの内容と、活動の様子など添付し発信している。	定期的に、子どもたちの様子を保護者の方にお知らせしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人名記載する書類など、管理徹底に努めている。	個人情報の取り扱い等、十分に気を付け管理徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて、写真や絵カードを用いて不安なく過ごせるよう支援を行っている。	今後も家庭と連携して、不安なく安心して過ごせるよう環境整備に努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		解放週間を設定した取り組み活動を行い、子どもたちの様子など見て頂くことができた。	今後も状況みて判断し、安心して交流できる環境や内容を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者の方に、周知徹底はできていない。	災害・感染症対応マニュアルについて、わかりやすく掲示をして周知徹底に努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回避難訓練を予定。火災による避難訓練は実施済(9月)。地震による避難訓練3月実施予定。	今後も災害計画に沿った避難訓練や、不審者対応も実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内で研修を行っている。	今後も継続して行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	該当児なし。	対象児童はいませんが、必要に応じて整備していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	対象児童については、家庭から情報を頂き対応している。	今後も家庭と丁寧なやり取りを行い、安全な対応に努めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書提出・回覧の徹底。再発防止に努めている。	今後も継続して行っています。